

令和6年度第2回奈良県・市町村長サミット  
令和6年11月25日（月）

いつまでも住み慣れた地域で生活できることを目指して  
～上龍門地域まちづくり協議会の取り組み～

上龍門地域まちづくり協議会  
会長 森田隆三

# 上龍門地域まちづくり協議会の概要

設立：平成27年4月26日

人口：596人

高齢化率：51.0%

面積：10.93km<sup>2</sup>

\*旧田原小学校区の7自治会（牧、栗野、田原、上片岡、下片岡、東平尾、大熊）で構成

(参考)

宇陀市の人口：26,814人

(令和6年10月1日時点)

面積：247.50km<sup>2</sup>



# ボランティア有償バス「かぎろひバス」の運行

いつまでも住み慣れた地域で生活できることを目指す

## 令和2年12月～ 県初の実証実験がスタート

過疎地域の交通手段として、**地域の住民が主体的に運転手**となり、バスを走らせるボランティア有償バスです。

県初  
住民運転、  
有償バス開始



地域は高齢化が進み、買い物や病院にひとりで行けない人も増えてきている。地域の足として運転手一同がんばりたい。



県内初の取り組みとして、  
新聞に記事掲載（令和2年12月6日）

交通手段の希望の光  
となる事業としてスタート

# ボランティア有償バス「かぎろひバス」の運行

いつまでも住み慣れた地域で生活できることを目指す

## 目的地にダイレクトに！

電話で予約をしていただくことにより、**個人宅への送迎**を行っています。目的地については、病院、スーパー、道の駅、あきののゆ（温泉施設）を停留所に設け、**通院、買い物等の外手段として活用**いただいています。

運行：1日7便　運賃：300円

\* ドライバーは7人で行っています。



通院

直接いけます



明日の●便で、●●まで  
お願いします



明日の●便、●●までの予約を  
承りました



買物

安心して買物出来ますよ

# ボランティア有償バス「かぎろひバス」の運行

いつまでも住み慣れた地域で生活できることを目指す

## お出かけ回数の増加による 地域の元気を推進

ドアtoドアでの移動を実現できたことで、通院、買い物等のお出かけの回数が増えています。その結果、住民同士のつながりが増え、地域の活性化に繋がっています。

## 利用された方の声...

- 今まで家族に送迎してもらっていたが、家族の都合がつかず困っていた。かぎろひバスがあって助かった
  - 電話で予約すると、自宅まで迎えに来てくれるので便利
- \*利用促進に向け、改善が必要な事項は、市と相談しながら取り組んでいます。



# 移動診療車「UMC」による診療を集会所で実施

## いつまでも住み慣れた地域で生活できることを目指す

平成30年から市内開業医の閉院が相次ぎ、医療空白地解消のため、市は移動診療車を導入しました。開業医がない上龍門地域において、令和4年度から**地域の拠点である田原集会所で、毎週金曜日、移動診療車「UMC」による診療が開始**されました。

上龍門地域まちづくり協議会では、**集会所の開錠等の運営、地域への移動診療車利用の周知**を行っています。なお、田原集会所へは、ボランティア有償バス「かぎろひバス」を利用させていただくことによってお越しいただけます。



全自動血球計数器



超音波診断装置



X線撮影装置



# 移動診療車「UMC」による診療を集会所で実施

いつまでも住み慣れた地域で生活できることを目指す

UMCをきっかけに  
交流、見守りにも繋がる

地域の方からの声…

- 近くに病院があるような感じで安心
- 地域の人に会え、いろんな話ができるので良い
- 畑でしんどくなってもすぐこれる

令和5年度利用者

延657人

